



Contents ●1月新年例会開催 ●お地藏さまフェスティバル実行委員会開催
●厄落としの会 ●タイムスリップ米子市 ●my グッズジョブ!! ●道なき道を

◆鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 山口尚文 ◆編集責任者/担当 副会長 西田裕志 ◆制作・編集 第45期広報委員会/委員長 渡邊公平

1月新年例会「賀詞交歓会」開催

令和2年1月15日、令和初となる鳥取県西部中小企業青年中央会1月新年例会賀詞交歓会が、多くのご来賓、OB会員の皆様方にご列席をいただき、スマイルホテル米子にて盛大に開催された。



冒頭、山口会長からご来賓、OB会員の皆様方への感謝の意が述べられ、第45期上半期の活動についての報告と下期の活動に向けての意気込み、そして直面する会員減少を解消するための取り組みの経過と会員拡大の成果について、当会の更なる発展と飛躍の誓いを込めながら、年頭の挨拶がなされた。

続いて、1月入会となった原正史会員への新入会員バッジ授与が行なわれ、原会員からは「この地域の発展に貢献したい」旨の決意が語られた。

その後、ご来賓を代表して赤沢亮正衆議院議員から、また土井一朗OB会長からご祝辞を賜り、出席者一同、新たな年の始まりに際して心をついに鏡開きを行い、伊木隆司米子市長の乾杯のご発声で賀詞交歓会は幕を開けた。



ご来賓、OB会員、現役会員の交流が行われる中、賀詞交歓会に華を添えるアトラクションとして、日本舞踊師範の水木典歌先生に新たな年の幕開けを祝し、日本の伝統的な日本舞踊をご披露いただき、会場全体が華やかな雰囲気に包まれた。

また、継続準備委員会の石田倫章委員長から、5月に開催される「お地藏さまプロジェクト」についての説明・PRが、マスクottキャラクターの「にこっとさま」も登壇して行われ、プロジェクト成功に向けた思いを現役会員一同で共有した。

そして、毎年恒例となっている新入会員アトラクションでは、川原聡司リーダーの下、ラグビーワールドカップでも話題となったニュージーランドマオリ族の伝統的な民族舞踊であるハカが力強く披露され、新入会員に対して、これからの中央会活動に対する期待の拍手が沸き起こった。

アトラクションの最後には日本、また鳥取県西部の伝統芸能である日南神楽演



舞が披露され、荘厳かつ迫力ある演舞で会場を魅了した。

2時間半という限られた時間ではあったが、本新年例会は今年1年の門出を祝う例会であるとともに、第45期の折り返しとなる例会として、下期に向けて会員一同、山口会長の下、心をついにする重要な例会でもある。そのことを改めて肝に銘じつつ、最後に中村勝治境港市長の中締めにて、大盛況のまま1月新年例会賀詞交歓会は閉幕となった。

(記事:三嶋)



1月新年を終えて

総務委員会 住 真介委員長
(住法律事務所 代表弁護士)



まず、御来賓の皆様10名、OB会員の皆様52名と多くの方々に、ご多忙のところご臨席賜りましたこと感謝申し上げます。また、現役会員の皆様におかれましては、おもてなし等のご協力をいただいた結果、たくさんのお話の輪ができる程の盛会となりました。誠にありがとうございました。

新入会員の皆様には、ご多忙のところ何度も練習を重ね、迫力と一体感のあるハカを演じていただき本当に感謝しております。また、総務委員会メンバーには、臨時委員会も含め事前の準備から本番まで委員会テーマ「真心」の実践の場として、新年例会当日しっかりと各自の役割を果たしていただきました。私自身、多くのOB会員の皆様とお話させて頂いた事やお声がけを頂いた中で、OB会員皆様の後輩に対する優しさや想いを伝えていただき、1月新年例会開催の意味を強く実感いたしました。

45期総務委員会は後半も担当の事業がございます。新年例会でついた勢いで、テーマ「真心」を最後まで突き詰めて事業を成功に導いて参りたいと思います。

最後になりますが改めて皆様ありがとうございました！

2月例会に向けて

地域ビジョン委員会 小谷泰樹委員長

(株シー・アンド・エヌネクスト 営業統括リーダー)



今期、地域ビジョン委員会では地域の魅力を知り、新たな価値を発見すべく『ほうきの国魅力共感プロジェクト』と題し、活動に取り組んでいます。また、当委員会が担当した9月例会及び11月の青経連事業では“地域固有の魅力は、それぞれの地域の固有の地形・気象・街などのインフラの上に存在するもの”と考え、それぞれ「みんなの空想地図～地図から読み解く街～」、「『地形』から見る都市の発展～視点を変えれば本質が見えてくる～」というテーマで事業を行いました。

そして2月例会では、これまでのストーリーを踏まえ、「空想しよう！！みんなで作るローカルビジネス～地域の魅力の磨き方～」と題し、地域の魅力を活かした体験・アクティビティについて取り上げ、あらためて地域の魅力を考えると共に、様々な業種・事業における体験商品開発について学びます。

参加していただく皆さんには、体験商品を開発するワークに挑戦していただきます。楽しみながら、新たな視点で地域を見つめ、ビジネスのヒントを得る機会となるよう準備していますので、当日は是非ともご参加いただければと思います。乞うご期待！！

タイムスリップ米子市

この写真は、当会が良くお世話になる米子市公会堂前の交差点の風景です。1968年当時、国道181号線はまだ繋がっていません。米子市公会堂は、市民の強い要望から市民運動「1日1世帯1円拠出3か年計画」で寄付を集め建築事業開始されました。反対側の錦町では土地の区画整理があり、建物は家曳き・解体するな

ど先人達の苦勞により道路や現在の街並みが整備されました。当時の公会堂周辺には、米子松竹(映画館)をはじめ、米子西高等学校などがありました。90年代には閉館や移転となりました。

2000年代に入り公会堂の耐震補強工事を実施するか否かから始まり、やよいの閉店・解体や高島屋を取り巻く情勢な

ど変化が目まぐるしいエリアですが、先日の米子高島屋東館のリニューアルを起爆剤として、米子の中心街の一つとしてこのエリアが輝きを取り戻せる日が来るよう、かつて先人達の努力によって街並が築かれたように、我々も地域の盛り上げに貢献していきたいと思えます。

(記事:川原)



1968年



1993年



2019年

参考資料 米子市史 掲載写真(鳥取県立博物館所蔵資料1968年,1993年)

厄落しの会

令和2年1月11日(土)に、毎年恒例となっている「青年中央会・厄落しの会」を米子市博旁町にある勝田神社にて行いました。本年は前厄5名、本厄3名、後厄2名の合計10名の参加となりました。当日は天候に恵まれ、快晴の中の厄落し会となりました。今年本厄となる奥森副会長・小谷委員長・白井会員の3名が代表して玉串を納め、本年についてよりご利益があるように、宮司様より参加者全員の名前を呼びながらご祈禱いただきました。



厄落しの会の後には高井会員が経営する「美酒佳肴ゆらく」にて懇親会を開催し、美味しい料理とお酒をいただきました。厄年については心の持ちようだと前向きに今年も仕事に打ち込んでいく旨をみんなで話し、懇親を深めました。

(記事:白井)



会員の独り言

山内 正樹

(有)サンユービルド 専務取締役)



私はお酒を飲むとすぐに顔が赤くなる。若い頃は何かならないものかと悩んでいたが、どうやらお酒が弱いというのは遺伝により決まってしまうようだ。アルコールを分解する機能に差があり「活性型」「不活性型」「失活型」の3つに分けられる。

活性型は分解能力が高く、不活性型は飲めなくはないが基本的に弱い、顔も赤くなりやすい。失活型はまったく飲めなく顔も赤くなる。ちなみに黒人白人はほぼ100%が活性型だが、日本人は50%が活性型、40%が不活性型、10%は失活型と言われている。

つまりお酒に強い弱いというのは「なぜ木村拓哉のような顔に生まれなかったのだろうか?」と嘆くのも同じで、悩む価値はないと気が付いた。中央会生活あと9年・・・。上手にお酒(の場)と付き合っていきたい。



お地蔵さま フェスティバル 実行委員会開催



今回で第5回目となる大山お地蔵さまフェスティバルの代表実行委員会が1月20日に行われました。今期の担当は継続準備委員会。その委員会名にもある通り、本フェスティバルが今後継続していくためにはどうしていけばいいのか？を考え取り組んでおられます。実行委員会を代表者と全体の実行委員会と分けて開催することで、より多く議論の時間を持つことができますし、石田委員長をはじめ各部長の考えや



想いがより深く会員に伝わるのではと感じました。

運営は広報・製作展示部、清掃・流しそば部、集客・にぎわい部、ステージ部の4部に分かれ、委員会単位で各部を担当します。山口会長は冒頭のあいさつで「他人事と思わず取り組んでほしい」と述べられました。全会員が一丸となって頑張りましょう！
(記事：高田)



企業戦士

(きぎょうあすりーと)

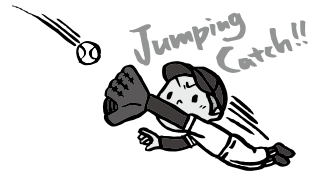
野口浩一

(川中・野口法律事務所 弁護士)

中央会野球部は昨年の中海テレビ放送杯で数年ぶりに準決勝に進出しました。全て手に汗握る僅差の試合で、敗退した準決勝も5点ビハインドで迎えた最終回に1点差に迫り一打逆転という状況まで作り上げました。試合の緊張感の仕事で迎える重大な局面と似ている部分があります。

自分のパフォーマンスに勝ち負けが懸かっているという状況は、とても苦しく、逃げ出したいという弱気の虫が顔を出し

ます。野球に限らずスポーツに真剣に取り組むことを通じて、困難に立ち向かう精神力が自ずと鍛えられているのではないのでしょうか。そして仲間がミスをすれば自分が取り返してやる。仲間を信じて委ねる。この信頼関係もスポーツにより自然と培われていくと思います。



卒会者より愛を込めて

福山輝展(日産プリンス鳥取販売株) 米子二本木店長



中央会に入会し10年になりました。入会当時5歳と3歳で保育所通いだっただ子供達も春から高校生と中学2年生になります。歩んでいる途中では分かりませんがゴールを迎えてみると時間が経つのは寂しいくらい早く感じます。

私は中央会でいつもすごいなと感じていた事があります。それは何かをやるうとする時、何かを決断しようとする時、皆が前向きだという事です。異なる意見はしっかり議論として話し合い、決して批判にはならない。決まった事は皆が協力的に実行する。これは組織の中でなかなか難しい事です。不満ばかりを口にしたり自分の考えを口に出来ないなど組織の問題点は多いものですが、中央会においては45年間で培われた会の風土によって様々な事に対して常に前向きな議論と実行が行われています。私も10年間その一部で居られたことを本当にありがたく、また誇りに思います。

現役の皆さんも会の活動の事、会と仕事や家庭との両立など、悩んだり大変な思いをする事も多いと思います。しかし悩み苦しんで得た経験ほど得難いものはありません。中央会はそのチャンスを与えてくれる場所です。そして中央会にはそれを支えてくれる頼れる仲間がたくさんいます。「ほんとに大変だけどそれ以上に楽しい」。これが私の中央会生活の感想です。関わって頂いた皆様本当にありがとうございました。そしてこれからどうぞよろしくお願いいたします。

石原 効(石原電気設備株) 代表取締役



「中央会は、とにかく入っておいた方が良いよ！」の一言で何も分からないまま入会し、あっという間の10年間でした。いまだに卒会する実感がしませんし入会して本当に良かったと思っています。

中央会の良いところは、入会1年目の新入会員から10年以上のベテラン会員まで同じ土俵に立ち1年間活動します。毎月の委員会や例会等を通じ学んだ事やベテラン会員の活動を見る事によって自然に手段・手法を学び身に付け、翌日から私生活や所属企業に取り入れ役立てる事が出来ます。たとえすぐにもなくとも5年後10年後の将来役立つ事も多々あると思います。又、分からない事を遠慮無く先輩に聞き、損得無しに後輩へアドバイスしてくれる関係が出来るのも中央会の良い所ではないかと思っています。教えてもらう側、教える側にとっても共に成長し合えると思います。

人は毎日大小かわからず選択し決断をします。今後、より適切な判断が出来るように、選択肢を増やせるように学び舎中央会で引出しを増やして下さい。

最後に、在籍中多くのアドバイスを頂いた諸先輩方、新たな気付きをさせて頂いた後輩会員へ感謝申し上げます。そして委員長を拝命し生涯忘れることの出来ない経験をさせて頂いた第42期 竹ノ内会長、ありがとうございました。

myグッジョブ!!

高見秀幸

(株)さんれいフーズ 副参事



我が社は1972年に山陰冷蔵として設立されました。母体となる山陰酸素工業の液体窒素の冷熱を利用する冷凍技術を利用し、日本海の恵みを材料とした冷凍食品・加工食品を製造する部門として事業化しました。

現在では総合業務用食品卸として、山陰両県を中心に外食・中食・給食など約7,000店を対象に、約26,000アイテムを供給しています。地域に密着し、安心で安全な価値のある食材を届けるために「フェイス トゥ フェイス」の営業を心がけています。その一環として春期と秋期の年2回展示会を開催し、取引のあるお客様に商品を見て試食していただき、見た目や味を実際にご確認いただいております。特に鳥取・米子にて開催する春季展示会は参加するメーカー数、来場されるお客様も大規模なもので、お客様とメーカーそして我々社員が直接顔を合わせて商談することで三位一体の関係を築くことができる大切なイベントです。私は地域営業本部の米子支店に所属し、境港・皆生・日吉津エリアのチームリーダーを担当しており、毎日2トン冷凍車に乗って皆生温泉の旅館などの配達も行っています。



山陰両県で特に顕著な少子高齢化・人口減少を人生100年時代到来のチャンスととらえ、多様化する食のニーズにしっかり対応し、豊かで輝く未来に向けてこれからも地域に貢献していきたいと思っています。

myグッジョブ!!

前田孝二

(株)中海葬儀社 統括部長



私の勤める株式会社中海葬儀社は葬儀に関わる全般の業務をしております。事前相談から御葬式はもちろんの事、搬送のみのお手伝いや法要に関わる全ての事に従事しております。中海葬儀社は中海を囲むように米子に2つ、境港、安来、東出雲に5つのメモリアルホールをもっております。

それぞれの地域にあった専門の知識を生かし小さな御葬式から社葬のような大きな御葬式まで幅広く対応できるのが強みです。大型ホールが多く、収容人数もトップクラス!! 家族葬専用のプランもあります!!

鳥取県西部全域(西伯郡、米子市、境港市)、島根県東部(安来市、松江市東部)は基本的に全ての地域で対応可能となっております。



全社員が「真心のご奉仕」をモットーにお客様の御遺志、御意向、御希望に出来るだけ寄り添いそれを実現してゆく事と、どのような形の式でも全力でサポートさせていただく事にやりがいを感じております。

もし、万が一の事が起きてしまったら365日24時間受付しておりますので御一報いただければお力になれると思います。是非ともよろしくお願い致します。

会長連載

道なき道を

第45期 会長 山口尚文

私たちの地域には「おいしい食材」が多くあります。他の地域の方と話をすると羨ましがられ誇らしく感じたりもするのですが、ふと考えると私自身はそれほど積極的に地元の食材を食べているわけではなく、知識として知っているだけの物だけです。仕事でも、インターネットで調べて知っているだけで解っているわけではないことが多くあります。皆さんにも思い当たる節があるのではないのでしょうか。きっとその差が、これからますます加速する情報化社会の中で、勝負を分けたり、成否を決める大きな要素になるのだらうと感じています。そして今すぐ出来ることと考え、最近の私は地域の食材を積極的に食べています。やっぱり私たちの地域には「おいしい食材」がたくさんありました。

地域ビジョン委員会



原 正史 O型 代表
原まさふみ行政書士事務所
許認可等、官公庁に提出する書類の作成代行サービス
〒683-0004 米子市上福原5丁目3番14号
TEL 21-1372 FAX 21-1517

R02.01 (R01年)入会
(推薦者) 三輪(龍)
松田(幸)

〈新入会員〉

〈コメント〉この度入会させていただき原正史と申します。中央会の活動については未知の部分が多いですが、すべてを吸収していくつもりで「考動」し、地域の中小企業の発展と、自己の成長に繋がりたいと思います。よろしくお願ひ申し上げます。



HELLO♡BABY



ちはる
高田 千晴ちゃん
2020年1月6日生まれ
(高田典宗会員 第2子)

新年早々に生まれたので、「はる」を名前に入れたいと思い「千晴(ちはる)」と名付けました。体重は2,580gと小柄ですが、元気に明るく育って欲しいなと思っています。仕事に家族に中央会、これからも頑張ります!

1月役員会報告

令和2年2月3日(月)米子市公会堂 集会室5にて2月役員会が開催されました。議題は以下の通りです。

- ・1月新年例会開催報告の件
- ・2月例会開催の件
- ・3月例会開催の件 ・その他

※なお、詳細については各委員長までご確認ください。

編集後記

新年に入りようやく冬らしい寒さになってきましたが、皆様体調は如何でしょうか。1月新年例会では来賓、OB会員、現役会員相互の親睦を図り有意義な時間を過ごすことができました。ご出席ありがとうございました。

(広報委員会 足立 駿)